

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI高津教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方と日頃から情報を共有し、お子様について共通理解をしている。また、相談や申し入れがあった時に、迅速に対応をしている。	送迎時のフィードバックだけでなく、詳しくお話をしたい場合は別時に機会を設けている。また、ご意見・申し入れがあった場合は即日スタッフでミーティングを行い、改善案を協議して、その結果を口頭だけでなく、書面でも伝えている。	家族支援プログラムを行うことを検討していく。また、保護者様同士での話し合いを希望される方がいる場合は、療育時間外での開催を検討する。
2	お子様のことを理解し、お子様と保護者のニーズや課題を分指揮したうえで、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成し、それに沿った支援が行われている。	事業所内でミーティング・モニタリングを行い、さらに保護者様との面談を踏まえて計画を作成している。また、スタッフ一同でミーティングを行い支援計画を設定している。	支援内容にズレを感じた場合に相談できる機会があることを分かりやすいように周知する。お子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流やその他地域で他の子ども達と交流する機会が少ない。	営業時間内で、保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流をする時間が作りづらかった。また、保護者様からの要望が少なかった。	営業時間内の業務の取り組み方を考え、交流ができる時間を作れるようにする。また、保護者様の要望もだけでなく、定期的に学校や幼稚園、他事業所等に訪問し、お子様の情報共有をする。
2	家族に対する家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などが少ない。	営業時間内で、家族支援プログラムや家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などを考える時間が作りづらかった。	保護者様同士で交流する機会が作れるように、療育時間外での座談会などの開催を検討する。また、親子プログラムは実施しているので、兄弟も参加ができる機会を設ける事を検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI高津教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 30

回収数 : 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	1		・人数が多いと、少し狭く感じることもある ・もう少し広い場所がいいと思う	運動の際、グループ分け・順番を明確にする・コーンやテープの線で区切る等の環境設定に取り組み、スペースの確保や接触・怪我の防止に努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8				・職員の人数がいつも多いため、安心できる	法令通りの人員を配置しております。専門性については契約書類の重説に経歴・資格が記載してありますが、より伝わりやすいように努めていきます。質問・わからない事がありましたらスタッフにお尋ねください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				毎日フロアと器具の清掃・消毒を徹底しています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1			・一人一人の個性に合わせて接してくれている。	今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるように日々ミーティングで療育内容を熟考してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1				事業所内でのミーティング・モニタリングと保護者様との面談を踏まえて計画を作成していますが、ズレを感じた際は遠慮なくおっしゃってください。計画変更の面談を設けます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1		1		契約時や面談時のご意見・ご要望をふまえてスタッフ一同ミーティングを行い支援内容を設定しています。支援内容にズレを感じた場合は遠慮なくご相談ください。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8				・毎回異なる活動が準備されていて、子どもが楽しみにしている	引き続き児童様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていきます。ご要望・ご意見も遠慮なくおっしゃってください。活動の様子をよりお知らせできる手立てを検討してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	1	2		次年度は、地域交流を深めるために検討しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					引き続き丁寧な説明を心がけていきます。疑問・質問等遠慮なくおっしゃってください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3		2	・親子イベントが楽しい	ペア・トレーニングの本格的な実施は現在は体制が整っていませんが今後検討してまいります。子育ての相談・助言等については引き続きスタッフにご相談ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1		1	・職員から伝えてもらった内容と、家庭や園でのズレはないので共通理解はできていると思う	送り迎えの混雑時はどうしてもフィードバックが短くなる場合があります。詳しく聞きたい場合は別時に機会を設けますのでご相談ください。またフィードバックの伝え方も定期的に事業所内で研修してまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			2	・いつも状況を丁寧に説明していただき、ありがたく思っている	面談は個別支援計画変更以外でもご要望に応じて行わせていただきます。子育てに関する相談も面談やフィードバックの際に遠慮なくおっしゃってください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	3	2	・兄弟で参加できる機会が欲しい	保護者会は現在実施予定はありませんが同クールの保護者様、同じ学年の保護者様など人数での情報共有・話し合いをご希望の際は児童発達支援管理責任者にお申し付けください。療育の時間外で行えるように検討していきます。 ※体験会、スタッフの出勤状況等もあり実施できない日時もありますのでご了承ください。日程もご相談のうえ調整させていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1		ご意見・申し入れがあった場合は即日スタッフ全員でミーティングを行い、改善策を協議してその結果をお伝えするだけでなく書面でもお渡しします。場合によっては面談をさせていただき支援計画を変更いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7			1	・適宜見学ができるのがありがたい	現状では半年以内の個別支援計画変更の際の面談や療育後のフィードバックが意思疎通と情報伝達の機会となっています。それ以外でも何かあれば話し合いの時間を設けさせていただきます。また療育に関する疑問や方針のズレを感じた場合も遠慮なくお伝えください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2		2		3月までにホームページの高津教室の下部に自己評価の結果を記載します。療育中、イベント、創作の活動報告等で引き続き活動概要をお知らせしていきたいと思います。「こういう内容のお便りがほしい」等のご意見も遠慮なくお申し付けください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			2		個人情報に記載されている書面は施錠できる棚に必ず保管しております。写真や作品は契約の際の同意書で許可をいただいた利用者様のみ店舗内に掲示し、HPや外部に掲載する事は決まてありません。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2		マニュアルは作成し起こった時の対応をスタッフ全員で周知しています。緊急時と防犯のマニュアルは危機管理・不審者対応マニュアルで一括して靴箱上のファイルにありますのでご自由に関覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2		TAKUMI高津では毎年2回の防災訓練と年1回の不審者対応訓練を行っています。店舗には緊急時に備えて防災頭巾、防災バックを用意しています。スタッフでの訓練も行って避難時の役割・経路を理解しています。避難経路は店舗の入り口に貼ってあります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6		1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			1	・子どもが楽しく通っていて、嬉しく思っている ・様々なイベントがあって、子どもが楽しいと言っている	今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるように日々ミーティングで療育内容を熟考していきます。児童様に行き渋りがみられる場合は真摯に受け止めて療育内容を改善させていただきますので遠慮なくご相談ください。

	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1		<p>・運動に対して苦手意識がなくなってきた、チャレンジできることが増えている</p>	<p>スタッフ一同最善の療育内容を提供できるように日々取り組んでいますが過信する事なく常にもっとできる事はないか考えていきたいと思っています。保護者様・利用児童様からのご意見・ご要望が質の向上の何よりの糧となりますので今後ともよろしくお願いいたします。</p>
--	----	------------------	---	---	--	---	--

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI高津教室	公表日	2026年 2月 28日
------	------------	-----	--------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・ 運動内容や練習方法を工夫して、スペースを活用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・ 玄関に写真を掲示して、利用者の方に段差があることを伝えている。	・ 入口の段差が改善の余地あり。バリアフリーは課題である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・ 毎日、次亜塩素酸での消毒を行っている。	・ マットや跳び箱等洗うことができないものの衛生面が気になる。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・ パーテーションで場所を区切って、クールダウンできる場所を作っている。	・ クールダウンできる部屋がない。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			・ 社内の研修を定期的に開催して欲しい。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・ 常に共有している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ 重要な点を共有しているので、支援が行いやすい。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・ 職員で話し合いの機会を設けて、考えることができています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・週ごとに内容を決めて、プログラムが固定化されないようにしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・毎日取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・細かなところまで共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6					
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI高津教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方と日頃から情報を共有し、お子様について共通理解をしている。また、相談や申し入れがあった時に、迅速に対応をしている。	送迎時のフィードバックだけでなく、詳しくお話をしたい場合は別時に機会を設けている。また、ご意見・申し入れがあった場合は即日スタッフでミーティングを行い、改善案を協議して、その結果を口頭だけでなく、書面でも伝えている。	家族支援プログラムを行うことを検討していく。また、保護者様同士での話し合いを希望される方がいる場合は、療育時間外での開催を検討する。
2	お子様のことを理解し、お子様と保護者のニーズや課題を分指揮したうえで、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成し、それに沿った支援が行われている。	事業所内でミーティング・モニタリングを行い、さらに保護者様との面談を踏まえて計画を作成している。また、スタッフ一同でミーティングを行い支援計画を設定している。	支援内容にズレを感じた場合に相談できる機会があることを分かりやすいように周知する。お子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子ども達と交流する機会が少ない。	営業時間内で、放課後児童クラブや児童館、地域の他の子ども達などとの交流をする時間が作りづらかった。また、保護者様からの要望が少なかった。	営業時間内の業務の取り組み方を考え、交流ができる時間を作れるようにする。また、保護者様の要望もだけでなく、定期的に学校や幼稚園、他事業所等に訪問し、お子様の情報共有をする。
2	家族に対する家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などが少ない。	営業時間内で、家族支援プログラムや家族なども参加できる研修会や情報提供の機会などを考える時間が作りづらかった。	保護者様同士で交流する機会が作れるように、療育時間外での座談会などの開催を検討する。
3	お子様の人数が多いときに、場所が狭く感じることもある。	クールの時間が早まったことから、小学生以上のお子様と同じクールに集まってしまい、1クラスの人数が多くなっている。	限られた場所で安全に運動ができるように、パーテーションなどを用いて環境設定を行う。また、今後の新規店舗においては十分な運動フロアが確保できるように物件探しや設計・施工に取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI高津教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 61

回収数 : 13

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2			・人数が多いときに狭く感じるがある	運動の際、グループ分け・順番を明確にする・コーンやテープの線で区切る等の環境設定に取り組み、スペースの確保や接触・怪我の防止に努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					法令通りの人員を配置しております。専門性については契約書類の重説に経歴・資格が記載してありますが、より伝わりやすいように努めていきます。質問・わからない事がありましたらスタッフにお尋ねください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1				注意喚起の紙を玄関に張り出しています。また送り迎え・入れ替えの際にスタッフが事故がないように対応・声かけを行っています。体験・初来所の利用者様には段差がある事を事前にお知らせします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				毎日フロアと器具の清掃・消毒を徹底しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるように日々ミーティングで療育内容を熟考していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					事業所内でのミーティング・モニタリングと保護者様との面談を踏まえて計画を作成していますが、ズレを感じた際は遠慮なくおっしゃってください。計画変更の面談を設けます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	契約時や面談時のご意見・ご要望をふまえてスタッフ一同ミーティングを行い支援内容を設定しています。支援内容にズレを感じた場合は遠慮なくご相談ください。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				1	引き続き児童様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていきます。ご要望・ご意見も遠慮なくおっしゃってください。活動の様子をよりお知らせできる手立てを検討していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	5	4	・必要ないと思う	次年度は、地域交流を深めるために検討しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					引き続き丁寧な説明を心がけていきます。疑問・質問等遠慮なくおっしゃってください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	1	4	・親子イベントが楽しい	ペア・トレーニングの本格的な実施は現在は体制が整っていませんが今後検討していきます。子育ての相談・助言等については引き続きスタッフにご相談ください。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	12	1			・職員から子供のことを伝えてもらうが、家庭や学校での生活とズレはないので、共通理解はできていると思う	送り迎えの混雑時はどうしてもフィードバックが短くなる場合があります。詳しく聞きたい場合は別時に機会を設けますのでご相談ください。またフィードバックの伝え方も定期的に事業所内で研修していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					面談は個別支援計画変更以外でもご要望に応じて行わせていただきます。子育てに関する相談も面談やフィードバックの際に遠慮なくおっしゃってください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	4	3	・特に求めている	保護者会は現在実施予定はありませんが同クールの保護者様、同じ学年の保護者様など人数での情報共有・話し合いをご希望の際は児童発達支援管理責任者にお申し付けください。療育の時間外で行えるように検討していきます。 ※体験会、スタッフの出勤状況等もあり実施できない日時もありますのでご了承ください。日程もご相談のうえ調整させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1				ご意見・申し入れがあった場合は即日スタッフ全員でミーティングを行い、改善策を協議してその結果をお伝えするだけでなく書面でもお渡しします。場合によっては面談をさせていただき支援計画を変更いたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1		現状では半年以内の個別支援計画変更の際の面談や療育後のフィードバックが意思疎通と情報伝達の機会となっています。それ以外でも何かあれば話し合いの時間を設けてさせていただきます。また療育に関する疑問や方針のズレを感じた場合も遠慮なくお伝えください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2		3月までにホームページの高津教室の下部に自己評価の結果を記載します。療育中、イベント、創作の活動報告等で引き続き活動概要をお知らせしていきたいと思えます。「こういう内容のお便りがほしい」等のご意見も遠慮なくお申し付けください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			3		個人情報に記載されている書面は施錠できる棚に必ず保管しております。写真や作品は契約の際の同意書で許可をいただいた利用者様のみ店舗内に掲示し、HPや外部に掲載する事は決まてありません。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1				マニュアルは作成し起こった時の対応をスタッフ全員で周知しています。緊急時と防犯のマニュアルは危機管理・不審者対応マニュアルで一括して靴箱上のファイルにありますのでご自由に閲覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					TAKUMI高津では毎年2回の防災訓練と年1回の不審者対応訓練を行っています。店舗には緊急時に備えて防災頭巾、防災バックを用意しています。スタッフでの訓練も行って避難時の役割・経路を理解しています。避難経路は店舗の入り口に貼ってあります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		2		
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13					・感情をあまり出すことがなかった子が、慣れてきて悔し涙や喜んだりできているので、安心感はあると思う	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13			<p>・様々なイベントがあり、子どもが楽しいと言っている</p>	<p>今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるように日々ミーティングで療育内容を熟考していきます。児童様に行き渋りがみられる場合は真摯に受け止めて療育内容を改善させていただきますので遠慮なくご相談ください。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			<p>・子どもが楽しく通所し、支援についても保護者と都度コミュニケーション・面談にて話を聞いていただき、目標や内容をアップデートしてもらっている</p>	<p>スタッフ一同最善の療育内容を提供できるように日々取り組んでいますが過信する事なく常にもっとできる事はないか考えていきたいと思っています。保護者様・利用児童様からのご意見・ご要望が質の向上の何よりの糧となりますので今後ともよろしくお願いいたします。</p>

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI高津教室			公表日	2026年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・運動内容や練習方法を工夫して、スペースを活用している。	・フロアの広さに対して利用者が多く、配慮が必要なことが多い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・玄関に写真を掲示して、利用者の方に段差があることを伝えている。	・入口の段差が改善の余地あり。バリアフリーは課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日、次亜塩素酸での消毒を行っている。	・マットや跳び箱等洗うことができないものの衛生面が気になる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・パーティションで場所を区切って、クールダウンできる場所を作っている。	・クールダウンできる部屋がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			・社内の研修を定期的で開催して欲しい。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・常に共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・重要な点を共有しているので、支援が行いやすい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員で話し合いの機会を設けて、考えることができている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・週ごとに内容を決めて、プログラムが固定化されないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				